

和光市議会議員

31歳

無所属



井上わたると

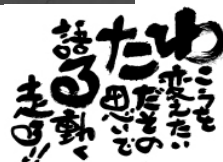
新しい和光をつくる会 第29号

～ 配る ホームページ ～

あなたは **37万4651** 番目の読者です。←

前号までにお届けした枚数です。

「人の暮らしと命を守るために政治はある」この政治信条を貫くため決断しました。



和光から埼玉を変える！ 県を変えて和光に活力を！

現在、市長や市役所職員は市議会の議場や様々な場面で「市の財政が厳しい」と言います。この言葉の後には、例えば「(財政が厳しいので) 事業の縮小・廃止をします」「料金を見直す必要があります」「計画の先送りをします」といった言葉が繋がります。

私はこれに対して、収入自体を増やす企業誘致や基盤整備の推進、広告収入の提案などを一般質問で行ってきました(近日中に「4年間の通信簿」を公開します)。市役所も滞納対策など色々取り組んでいますが、和光市が直面している財政状況を考えると、もう少し大きな枠組みからの改革が必要です。

そのために、今後、新たに埼玉県政からの改革を視野に入れ、埼玉県全体の底上げを行うことによって、和光市の活力を取り戻す!と決断しました。

和光市の厳しい財政状況に市議会で向き合ってきた経験があるからこそ、市政の課題を的確に県に届けることが出来ます。**現在の和光市政と埼玉県を繋ぐ「架け橋」になります!**

「人の暮らしと命を守るために政治はある」—これが16年前の阪神・淡路大震災の地で胸に刻んだ私の政治の原点です。しかし和光市だけでなく、県内の各自治体が市民を支える力は徐々に弱まってきています。市民の暮らしや命は地震のような大災害だけで脅かされるものではありません。だからこそ大きな枠組みで、教育・子育て・医療・福祉・雇用などあらゆる分野の改革に動き出さなければいけない時が来ているのです。

一人での改革は時間が掛かりますが、私には共に改革に取り組む同志がいます。それが「**埼玉県政を改革する会**」の若手議員です。(※詳しくは次のページ)

若さと行動力で県全体を大きく改革する原動力になることを目指して…今こそ、

挑戦の時。

【連絡先・お問い合わせ】

ホームページ <http://inouewataru.com>

ブログ <http://inouewataru.blog.shinobi.jp>

ツイッター <http://twitter.com/inouewataru/>

発行元:「井上わたると新しい和光をつくる会」討議資料

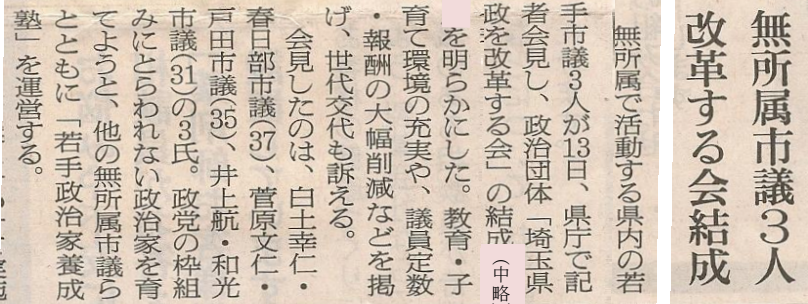


若手議員の仲間と共に! 「埼玉県政を改革する会」 記者会見と共通政策

1月13日(木)、埼玉県庁で若手議員の仲間と共に「埼玉県政を改革する会」の記者会見を行いました。市町村の枠を越えて県政を改革する想いのもと、会としての「共通政策」を発表し、翌日の新聞各紙(朝日、毎日、東京、埼玉新聞等)に記事が掲載されました。

2011年1月14日
朝日新聞 朝刊

私たちはこの共通政策の実現と3名それぞれが掲げる「個別政策」(※後日、発表します)の実現に向け、無所属の立場で活動を始め、さらに各市の若手市議会議員とも連携して、埼玉県と各市町村の改革を進めます!



埼玉県政を改革する会 共通政策

「埼玉県政を改革する会」は、党派を超えた無所属の立場で、県民が主役の政治を実現します。斬新な発想と長期的な視点に立ち、持続可能な社会を構築し、市町村議会での経験を活かして、県内地域の課題解決に取り組み、若さと行動力で埼玉県政を大きく改革する原動力になることを目的とします。

共通政策

1、教育・子育て環境の充実で「若き県」埼玉の未来を育てる

- ・公立中高一貫校の増加と、教員の質の向上による、県内教育環境の充実。
- ・子どもの貧困をなくして、多様な子育てニーズにきめ細かく取り組む。

2、産業の活性化と雇用を増やして「働く県民を応援する」埼玉県

- ・埼玉県版紹介予定派遣事業の実施など、雇用のミスマッチの解消と新卒の雇用創出。
- ・中小企業に国際競争力をつけ、県産品のブランディング化など、県内産業の活性化。
- ・都内への通勤をより便利にする鉄道・地下鉄・道路網などの整備。

3、健康と命への不安をなくし「長寿の県」埼玉の実現

- ・がん対策や小児救急など、病院間の医療ネットワークの形成。
- ・各種ワクチンや子ども医療費助成など、命に関わる政策の市町村格差を解消。
- ・高齢社会に備えた医療・福祉サービスの充実と、人口比医師数ワースト1位からの脱却。

4、財政再建を推進し「持続可能な埼玉県財政」の確立

- ・「子供にツケをまわさない」財政運営の推進。
- ・聖域なき補助金改革を断行し、補助金・交付金をゼロベースで見直し。

5、「県のリーダーシップ」による、市町村の枠組みを越えた連携を推進

- ・広域連合などの積極的な導入により市町村業務の効率化や経費削減をはかる。
- ・道州制も視野に入れ、財源を含む権限を国から県へ、そして市町村へと移譲する。

6、若い力で「改革の県議会」を主導する

- ・県民への説明責任を果たす議会基本条例を制定する。
- ・議員定数、報酬の大幅削減と公費による海外視察を廃止。
- ・政務調査費の領収書の全面公開。

以上

 **埼玉から**
日本を変える!